

田舎ぐらし

地域づくり

しごと体験

若者の地方体験交流のご案内

美味しい空気、きれいな水

第2のふるさとづくり

国土交通省 都市・地域整備局地方振興課

募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

参加申込書は P 1 8 にありますのでご利用下さい。

独-1	北海道平取町	独-15	長野県天龍村
独-2	宮城県栗原市	独-16	静岡県東伊豆町
独-3	山形県遊佐町	独-17	奈良県川上村
独-4	福島県喜多方市	独-18	和歌山県紀美野町
独-5	福島県川俣町	独-19	和歌山県那智勝浦町
独-6	福島県川内村	独-20	和歌山県日高川町
独-7	茨城県常陸太田市（※）	独-21	島根県邑南町
独-8	群馬県桐生市	独-22	岡山県高梁市
独-9	群馬県みどり市	独-23	山口県長門市
独-10	群馬県上野村	独-24	徳島県美波町
独-11	新潟県長岡市	独-25	長崎県小値賀町
独-12	富山県南砺市	独-26	熊本県小国町
独-13	富山県南砺市 2	独-27	大分県日田市
独-14	福井県大野市	独-28	宮崎県西米良村

※ 独自-7（茨城県常陸太田市）は指定の参加申込書でご応募下さい。

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自-1 : 北海道平取町^{びらとりちょう} (人口: 5, 729人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北海道 日高線 富川駅下車 道南バス 平取町役場前バス停

所要時間 富川駅からバスで20分

(2) 事業実施の目的等

- ・田舎の生活を実感してほしい。
- ・外部からの視点と若者の感性で、地域の長所・短所を発見してもらいたい。
- ・地域の応援団として様々な場面で町のPRをお願いしたい。

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (トマト収穫等)
- ・地域イベント「義経神社例大祭、チプサンケ (アイヌ民族の伝統儀式)」の準備・参加、運営
- ・アイヌ文化体験
- ・地域資源による観光方策の提言

(4) 受入主体

平取町

(5) 受入期間

8月上旬 ~ 8月下旬
15 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 (新千歳空港まで送迎) 宿泊費: なし、食事代: 職員住宅利用時のみ朝食昼食自己負担
①要件	20歳以上の大学生・大学院生で、まちづくりに興味があり、田舎の生活や農作業等の労働を苦にせず、地元の人と積極的に交流できる元気で明るい方 (2名程度)
②応募締切り	7月9日 (金) 必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	民泊 (ホームステイ)・職員住宅等
④食事形態	民泊の場合は宿泊先が提供、職員住宅等の利用時は自炊や弁当の場合あり (休日や朝昼食時は自己負担の場合あり)、懇親会等一部自己負担あり。
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

雄大な北海道の自然のなかで田舎のおじさん・お婆さんといっしょに汗を流しながら、そこで生活して感じたことや発見したこと、わが町が元気になる方法をお聞かせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 平取町	担当部署 まちづくり課 企画係
(ふりがな) みうら あきのり 担当者氏名 三浦 明徳	TEL: 01457-2-2222 (直通) FAX: 01457-2-2277
E-mail: kikaku2007@town.biratori.hokkaido.jp	
URL: http://www2.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/	
応募宛先 〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地	平取町役場 まちづくり課

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-2 : ^{くりはらし}宮城県栗原市 (人口: 77,649人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線: くりこま高原駅下車 徒歩0分 (東京から約2時間30分)
 高速バス: 東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車徒歩0分
 (仙台から約1時間20分)

(2) 事業実施の目的等

栗原市では、地域資源を活用した「くりはら田園観光都市」の創造に取り組んでいます。本事業では、学生の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験したりしながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究します。
 さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

(3) 体験の内容

季節に応じて、体験メニューを設定します。
 ○農作業体験 … 季節に応じて、田んぼ、畑、果樹園等で作業を体験します。
 ○林業体験 … 森林や竹林等での作業を体験します。
 ○地方の暮らし体験 … 地方に伝わる家庭の行事を体験します。
 ○資源調査 … 職員と一緒に地域資源を調査します。
 ○地元若者との交流 … 地元の同年代の若者と交流します。
 ○その他 … 直売所などのお手伝い。

(4) 受入主体

・くりはら研究所 (栗原市産業経済部田園観光課)
 ・くりはらツーリズムネットワーク

(5) 受入期間

①8/13~16 ②9/20~23 ③2月 ④3月
 ※すべて3泊4日

(6) 応募上の注意

※費用負担	・現地までの交通費: 自己負担 ・参加費: 1万円程度 (宿泊費、作業費、保険料、食事代等)
①要件	・地方、田舎に関心のある大学生、大学院生 (都市、地方は問いません)
②応募締切り	・①7/22 ②8/19 ③、④未定 ※各回4~8人程度を予定
③宿泊施設	・民泊
④食事形態	・受入先で提供 ※昼食は一部自己負担あり
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルの約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然が豊かで、田園風景が広がる場所です。2008年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」で甚大な被害を受けましたが、現在は復興に向かっていきます。
 広い栗原を一緒に楽しみましょう。

(8) お問い合わせ先

自治体名	栗原市	担当部署	くりはら研究所 (産業経済部田園観光課観光企画係)
(ふりがな)	おおば ひさき	TEL:	0228-22-1151 (直通)
担当者氏名	大場 寿樹	FAX:	0228-23-5370
E-mail: kanko@kuriharacity.jp			
URL: http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html			
応募宛先	〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3 (くりこま高原駅内)		

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-3 : ^{ゆざまち}山形県遊佐町 (人口: 16, 222人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR羽越本線 遊佐駅下車 徒歩3分

(2) 事業実施の目的等

町の生産者グループが、農産物や町の特産品の販売の拡大を図るために、通信販売の仕組みを構築したいと考えています。そこで、販売体験を行いながら、通信販売の仕組みや商品構成等について、生産者と一緒に検討いただき、提案としてまとめていただくことを目的とします。

(3) 体験の内容

- ・生産物直売所での販売体験
- ・地元農産物を生かした商品・メニュー開発
- ・通信販売手法の企画・研究

(4) 受入主体

生産者グループ「ぽっぽや」

(5) 受入期間

8月下旬 ~ 9月下旬
1ヶ月程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 旅行傷害保険料
①要件	農業を通じた地域づくりに興味のある方、大学院生希望
②応募締切り	5月末
③宿泊施設	生産者グループで準備
④食事形態	自炊
⑤その他	受入人数、受入期間等ご相談に応じますので、詳細についてはお問合せ下さい

(7) 地域担当者から一言

日本有数の米どころ山形県庄内地方北部に位置する、自然と湧水の里・遊佐町。農産物生産者グループのみなさんと一緒に知恵と汗を出し合って、地域づくりに取組んでみませんか。みなさんの力が必要です。みなさんが吹き込む「新しい風」待っています。

(8) お問い合わせ先

自治体名	遊佐町	担当部署	企画課 まちづくり支援係
(ふりがな) 担当者氏名	まとう ひろや 佐藤 裕也	TEL : 0234-72-4524 (直通)	FAX : 0234-72-3310
E-mail :	iimachi@town.yuza.yamagata.jp		
URL :	http://www.town.yuza.yamagata.jp		
応募宛先	〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴2 1 1 番地		

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-4 : 福島県喜多方市 (人口: 53,331人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR: 磐越西線 喜多方駅 徒歩15分
自家用車: 磐越自動車道 会津若松IC 20分

(2) 事業実施の目的等

都市住民が、農業を手伝いながら農村に滞在し、ありのままの農家生活を体験することで、心のリフレッシュや農業技術の習得などを図る。

(3) 体験の内容

ワーキングホリデー喜多方
・稲作やグリーンアスパラガス、チェリートマトなどの野菜栽培のお手伝い
・農家に宿泊しながら田舎暮らし体験

(4) 受入主体

喜多方市

(5) 受入期間

4月～10月
滞在日数2泊3日から

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費・食事代: 無料
①要件	農業や農村に関心のある方 就農を考えている方 喜多方での暮らしを体験してみたい方
②応募締切り	希望する初日の2週間前
③宿泊施設	受入れ農家
④食事形態	受入れ農家で提供
⑤その他	農作業できる服装、着替え、洗面用具、タオルなどを準備してください

(7) 地域担当者から一言

就農を考えている方やちょっと田舎暮らしを体験してみたい方におススメします。
喜多方の先輩農家に宿泊しながら、農作業のお手伝いをします。稲作やグリーンアスパラガス、チェリートマトなど基幹作物の栽培実習もできます。
就農を考える皆さん、まずは喜多方の農業を体感してみてください。お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名	喜多方市	担当部署	産業部観光交流課グリーン・ツーリズム推進室
(ふりがな) 担当者氏名	さとう こうじ 佐藤 功児	TEL: 0241-24-5237 (直通) FAX: 0241-24-5284	
E-mail	kankou-gt@city.kitakata.fukushima.jp		
URL	http://www.city.kitakata.fukushima.jp		
応募宛先	〒966-8601 福島県喜多方市字御清水東 7244-2		

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-5 : ^{かわまたまち}福島県川俣町 (人口: 15,723人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

東北新幹線 福島駅下車 福島-川俣高校前バス 45分

(2) 事業実施の目的等

- ・農作業体験及びファームステイにより農業・農村生活を体感し理解を深め、そのことを自分の言葉で語れる若者を育む。
- ・地域づくり、まちづくりへの関わりに意欲のある都市の大学生・大学院生等の若者との交流を活発化させ、都市資源(人、産業、文化等)と地域資源(人、産業、文化等)を活用した新しい地域づくり活動や仕事の創出のきっかけづくりを図る。

(3) 体験の内容

- ・仕事としての花卉、葉タバコ、野菜等の農作業や養鶏、酪農等の飼育作業体験
- ・地域伝統行事(盆踊り)参加や小中学校訪問による地域住民との交流
- ・地域ヒアリングによる現有地域資源を活用した交流事業の仕組みの提案
- ・からりこフェスタ、川俣シャモまつり等運営補助
- ・現地報告会

(4) 受入主体

- ・インターン受入グループ
- ・山木屋自治会
- ・川俣町

(5) 受入期間

- ・8月上旬 ~ 9月上旬
30日間程度(応相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 自己負担 宿泊費、食事等は、下記に問い合わせください。
①要件	地域づくりや農業・農村生活体験に好奇心旺盛な大学・大学院生
②応募締切り	6月18日(金)必着、消印。 必ず担当者に連絡の上、別添の参加申込書、小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願います。
③宿泊施設	受入地域にある空き家 or 体験交流施設を賃借 (水道光熱費・寝具リース料を含めて17,000円程度)
④食事形態	自炊
⑤その他	体験や交流によっては宿・食事の提供あり 作業体験によっては報酬あり

(7) 地域担当者から一言

今、みなさんが30日間という時間を費やす価値が川俣町にはあります。何を見て、何を聞き、何に驚き、喜び、何をしたのか。何を感じ、考えたのか…あなたの言葉で伝えてほしい。

(8) お問い合わせ先

自治体名	川俣町	担当部署	産業課 商工交流係
(ふりがな) 担当者氏名	おおつき ともり 大槻 友徳	TEL : 024-566-2111 (内線) 7271 FAX : 024-566-2438	
E-mail :	sangyo@town.kawamata.lg.jp		
URL :	http://www.town.kawamata.fukushima.jp		
応募宛先	〒960-1492 福島県伊達郡川俣町字五百田30	川俣町役場産業課商工交流係	宛

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-6 : ^{かわうちむら}福島県川内村 (人口 3,053人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東日本 常磐線 夜ノ森駅下車 → 新常磐交通バス 川内村役場前バス停下車
(夜ノ森駅バス停より約50分)

(2) 事業実施の目的等

インターン生に「田舎」を感じてもらい、地域づくり・地域活性のためのヒントをいただく。
また、地域住民の方々には、インターン生からの意見などを聞き入れ、川内村が元気になるためにはどうしたらよいか自ら考えることを目的としています。

(3) 体験の内容

農家民泊をしていただき、農・林業体験、酪農・炭焼き体験・直売所での販売などの体験メニューをしていただきます。また、地域イベントへの参加と協力、地域づくりへの提言をしていただきます。

(4) 受入主体

福島県川内村役場
中山間地域の集落(行政区)

(5) 受入期間

平成22年9月上旬から中旬の2週間

(6) 応募上の注意

※費用負担	川内村までの交通費：自己負担 食事代：朝・晩は受入れ先で提供(無料)、昼食は自己負担 宿泊費：無料
①要件	本当の田舎の現状に興味を持ち、一緒に地域づくりを図りたい人。
②応募締切り	平成22年7月30日(金)
③宿泊施設	農家民泊
④食事形態	宿泊先での食事(※外食はすべて自費)
⑤その他	汚れてもよい服装を用意して下さい。(農・林作業、酪農等)

(7) 地域担当者より一言

過疎地域といわれる田舎の現状を実際に見て、話しを聞き、体験してもらい、本当の地域格差を感じてほしいと思います。また、地域づくりや地域活性化のために、新しい風を吹き込んでほしいと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名 川内村	担当部署 総務課 企画財政係
(ふりがな) いがり けんいち 担当者氏名 猪狩 健一	TEL : 0240-38-2112 (内線 132) FAX : 0240-38-2116
E-mail : moritarou@vill.kawauchi.lg.jp	
URL : http://www.kawauchimura.jp	
応募宛先 〒979-1292 福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡 11-24	川内村役場総務課企画財政係

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自一 7 : 茨城県常陸太田市 (人口：56,862人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

○自動車 三郷 IC～常磐自動車道～那珂 IC～R349～常陸太田市 (所要時間 約1時間40分)
○JR 水郡線 常陸太田駅 上野駅～JR 常磐線～水戸駅～JR 水郡線～常陸太田駅 (所要時間 約1時間30分)
○高速バス 常陸太田市高速バスターミナル 新宿駅・東京駅～常陸太田市高速バスターミナル (所要時間 新宿駅から約2時間40分, 東京駅から約2時間)
※公共交通機関をご利用の方は、事務局が集合場所まで送迎いたします。

(2) 事業実施の目的等

茨城県常陸太田市の農繁期における労働力不足の課題を、農業に関心のあるという方にボランティアで農作業を手伝ってもらうことにより、都市と農村の交流を深めつつ、労働力の補完・支援することを目的としています。

(3) 体験の内容

ワーキングホリデー in 常陸太田 農作業メニュー
○ぶどう：花きり作業, 袋かけ作業
○なし：梨摘果作業, 梨収穫作業
○そば：通年の作業 (開墾・土づくり, 種まき, 中耕培土, 刈り取り, 脱穀) 全5回
※詳細については、下記ホームページをご覧ください。 URL【 http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/data/workingholiday/index.html 】

(4) 受入主体

常陸太田市
市内ぶどう農家, なし農家, そば農家

(5) 受入期間

平成22年度募集

○ぶどう (各回とも2泊3日間)
花きり作業【5/28(金)～5/30(日)】
袋かけ作業【7/23(金)～7/25(日)】

○なし (各回とも2泊3日間)
摘果作業【5/28(金)～5/30(日)】
収穫作業【9/10(金)～9/12(日)】

○そば (各回とも1泊2日間)
開墾・土づくり【7/24(土)～7/25(日)】
種まき【8/7(土)～8/8(日)】
中耕培土【8/21(土)～8/22(日)】
刈り取り【10/16(土)～10/17(日)】
脱穀【10/23(土)～10/24(日)】

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：ぶどう, なし (2泊料金 25歳未満 700円/25歳以上 1,760円) そば (無料) 食事代：原則として食事に係る費用は受け入れ側で負担
①要件	原則として18歳以上で元気に農作業ができる方。(ペットやお子様連れでの参加はできません。) ※そばについては、5回の作業のうち、少なくとも3回以上の作業にご参加できる方。
②応募締切り	各農作業メニュー初日の15日前までにお申し込みください。 ※平成22年3月23日(火) 8:30から参加申し込みの受付を開始します。

③宿泊施設	ぶどう、なし：茨城県立西山研修所 そば：地域で準備する施設
④食事形態	原則として食事に係る費用は受入側で負担します。
⑤その他	・参加者全員にボランティア保険を適用します。(市事務局が負担します。) ・農作業の報酬はありません。

(7) 地域担当者から一言

「ワーキングホリデー in 常陸太田」では、豊かな自然と歴史が残る茨城県常陸太田市で、農作業、農家との交流を通じて、田舎体験を味わうことができます。
常陸太田の農業を守り後世に引き継ぐためにも、農家のみなさんと一緒に汗を流してみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 常陸太田市	担当部署 産業部商工観光課内 「ワーキングホリデー in 常陸太田」事務局
(ふりがな) かわさき しんご 担当者氏名 川崎 慎吾	TEL : 0294-72-3111 (内線 623) FAX : 0294-72-0288
E-mail : shokan3@city.hitachiota.lg.jp	
URL : http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/	
<p>応募方法</p> <p>○郵送でのお申し込み 所定の申し込み用紙を事務局まで郵送してください。 〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町3690番地 常陸太田市産業部商工観光課内「ワーキングホリデー in 常陸太田」事務局</p> <p>○FAXでのお申し込み 所定の申し込み用紙を事務局まで送信してください。 FAX 送信先 0294-72-0288</p> <p>○インターネットでのお申し込み 上記 URL 内、専用フォームよりお申し込みください。</p> <p>※平成 22 年 3 月 23 日 (火) 8:30 から参加申し込みの受け付けを開始します。 ※電話による参加申込は受付しておりません。ご了承ください。 ※農家と受入の調整が出来ない場合は、参加をお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ※募集状況はホームページでご確認ください。</p>	

ワーキングホリデーin 常陸太田 参加申込書

○ご記入ください。

(フリガナ) 氏名	()	年 齢	歳	性 別	男・女	電話	
		生年 月日		・	・	FAX	
住所	〒		職業		携帯		
					eメール		
交通 手段	集合場所までの交通手段をお聞かせください <input type="checkbox"/> 公共交通機関(JR常陸太田駅から集合場所へ送迎が必要ですか <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要) <input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> その他()						
運転 免許	<input type="checkbox"/> 普通免許(MT・AT限定)以上を所有 <input type="checkbox"/> 普通自動車を運転できない免許(原付等)を所有 <input type="checkbox"/> 運転免許は持っていない						
参加動機 (複数回答可)	①農作業体験 ②農家と交流 ③農村体験 ④常陸太田を知るため ⑤農業技術の習得 ⑥田舎暮らし ⑦その他()						
備考	留意点や伝えておきたいことなど具体的に記入してください。 (〇〇は食べられない、アレルギーがある、〇〇さん宅希望等)						

○参加を希望する農作業メニュー選び選択欄に○を記入してください。

選択欄	農作業メニュー	期間等
	ぶどう「花きり作業」	5/28~5/30 (2泊3日間)
	ぶどう「袋かけ作業」	7/23~7/25 (2泊3日間)
	梨「摘果作業」	5/28~5/30 (2泊3日間)
	梨「収穫作業」	9/10~9/12 (2泊3日間)
	そば通年栽培 「開墾」「種まき」「中耕」「刈 取り」「脱穀」 ※3回以上参加できる方	参加できる作業にレ印を記入(3つ以上) <input type="checkbox"/> 開墾 (7/24~7/25) <input type="checkbox"/> 種まき (8/7~8/8) <input type="checkbox"/> 中耕 (8/21~8/22) <input type="checkbox"/> 刈取り (10/16~10/17) <input type="checkbox"/> 脱穀 (10/23~10/24)

※参加の申込期限は、各農作業メニューの初日から15日前までに必着とします。(農家と受入の調整が出来ない場合は、参加をお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自－8 : 群馬^{きりゅうし}県桐生市 (人口：126,165人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR両毛線	桐生駅下車	徒歩 10分
東武鉄道桐生線	新桐生駅下車	車 5分

(2) 事業実施の目的等

都市地域の方に桐生市のそれぞれの地域へ入っていただき、各所にて色々な体験活動をする中で、地域住民との係わりを持ち地域の活性化へ結びつけたい。また、地域住民と交流することにより、普段気づいていない地域の良い面、悪い面を若者の目を通して今後どうあるべきかを考えるきっかけづくりとし、桐生市の現状や近隣地域とのかかわりについても思慮してもらいたい。

(3) 体験の内容

- ・桐生市の重点施策及び観光・文化についての学習や水沼駅温泉センター等での業務体験
- ・桐生市の伝統産業である織物業の体験学習
- ・桐生市民活動推進センターでの市民活動団体との交流体験
- ・桐生八木節まつり・黒保根まつりの手伝いと参加(八木節踊りの指導あり)
- ・桐生市青少年野外活動センターでのキッズキャンプへ地元大学生とスタッフとして参加交流体験
- ・合併した地域である黒保根町での農業体験と新里町での畜産体験(搾乳など)

(4) 受入主体

桐生市地域づくりインターン事業実行委員会

(5) 受入期間

8月3日(火)～8月20日(金)
18日間の予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担(ただし、首都圏外の人には一部助成予定) 宿泊費及び食事代：原則自己負担なし
①要件	20歳以上の大学生及び大学院生希望(3大都市圏以外に居住でも可)。市街地と田舎が共存する「まちいなか」である桐生市に興味があり、自然・子ども・お祭り・人との関わりが好きな人。
②応募締切り	6月15日(火)必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	桐生市青少年野外活動センター、お試し暮らし住宅、農家民宿及びホームステイ
④食事形態	朝食・夕食は原則宿泊受入先で用意 昼食は原則実施主体で用意
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。 体験に入る前に東京(予定)でオリエンテーションを実施予定。

(7) 地域担当者から一言

桐生市はノコギリ屋根工場などの近代化遺産や歴史的な町並みを観光資源として活用するとともに、「重要伝統的建造物群保存地区」への選定に向かっています。また渡良瀬川や桐生川が流れ山々が連なる自然豊かな地域でもあります。ここで夏の地域行事への参加や織物・農畜産業体験などを通して地域住民や子どもたちとの交流の中から、桐生市に対して若者の視点からフレッシュな提言をお願いします！桐生で一緒に汗を流してみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名	桐生市	担当部署	産業経済部観光交流課交流促進係
(ふりがな) 担当者氏名	あらい やすよ 新井 八寿代	TEL : 0277-46-1111 (内線) 367 FAX : 0277-40-1283	
E-mail	kanko@city.kiryu.gunma.jp		
URL	http://www.city.kiryu.gunma.jp		
応募宛先	〒376-8501 群馬県桐生市織姫町1番1号 「桐生市役所観光交流課 地域づくりインターン担当宛」		

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自－9 : 群馬県みどり市 (人口：52,983人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR両毛線 岩宿駅下車 徒歩20分(または駅からデマンドバスの利用で、市役所笠懸庁舎バス停留所下車徒歩0分)

(2) 事業実施の目的等

都会の若者は、みどり市のどこに魅力を感じるか、また、その魅力を生かした新たな地域づくりは、どのようなものがあるか、若者としての率直な意見や提言を得て、「にぎわいと活力のあるまちづくり」のために役立てる。

(3) 体験の内容

農林業体験
大間々祇園まつり参加及び業務体験
ボランティア団体の活動体験及び会員との交流
文化施設、観光施設等の業務体験 など

(4) 受入主体

実行委員会(名称等未定)

(5) 受入期間

7月下旬から8月上旬で7日から10日間を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費は、自己負担。食費は、原則自己負担なし。
①要件	地方に興味があり、自然・文化・農林業と地域づくりに関心のある20歳以上の大学生または大学院生
②応募締切り	6月18日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	民泊及び公共施設
④食事形態	朝食・夕食は原則宿泊受入先で用意 昼食は原則実施主体で用意
⑤その他	受入人数は、2人 全ての内容は、4月以降に正式決定となります。

(7) 地域担当者から一言

平成18年に2町1村が合併して誕生したみどり市は、北部から南東部にかけて渡良瀬川が貫流するなど自然環境に恵まれています。岩宿遺跡や銅街道など歴史的な特色もあり、観光・文化資源も豊かなところです。そうしたみどり市において、地域行事への参加や農林業体験などを通して住民との交流の中から感じたフレッシュな提言をお願いします。

(8) お問合せ先

自治体名 みどり市	担当部署 市長公室 広域調整室 広域調整係
(ふりがな) たくくさぎ ひろし 担当者氏名 高草木 広司	TEL: 0277-76-0959 (直通) FAX: 0277-76-9698
E-mail: takakusagi-h@city.midori.gunma.jp	
URL: http://www.city.midori.gunma.jp/	
応募宛先 〒379-2395 群馬県みどり市笠懸町鹿 2952	

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-10 : ^{うえのむら}群馬県上野村 (人口: 1, 389人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

私鉄上信電鉄線 下仁田駅下車 上野村乗合タクシー ふれあい館下車

(2) 事業実施の目的等

都市部の若者に、地域に入っていただき地域の各所にて色々な活動をされる中で、地域住民との係わりを持ち、地域住民の活性化へ結びつけたい。又、交流をすることにより、地域住民が普段気づいていない地域の良い面、悪い面の抽出をして地域が今後どうあるべきか考えるきっかけとしたい。

(3) 体験の内容

村内で開催される各種イベント等への参加及びお手伝い
農業体験
福祉・保育体験
神流川発電所の見学

(4) 受入主体

上野村

(5) 受入期間

9月 3日(金) ~ 9月24日(金)
22日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	宿泊・食事での自己負担はありませんが、現地までの交通費はご負担ください。
①要件	農山村での田舎暮らしや地域活動等に興味のある方・やる気のある方
②応募締切り	平成22年7月5日(月)必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記入の上、担当者まで郵送してください。
③宿泊施設	山のふるさと合宿かじかの里学園及び民泊
④食事形態	朝食と夕食は受入先で提供いたします。 昼食は、適宜お弁当や食堂等での食事を準備いたします。
⑤その他	農作業等が出来る服装及び長靴のご準備をお願いします。

(7) 地域担当者から一言

自然が豊かな上野村で、農山村の小規模自治体の状況や頑張りぶりをつぶさに見ていただきながら、田舎暮らしを通して地域の住民と交流を深め、上野村の活性化のために頑張っていただけの方をお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 上野村	担当部署 事業部 企画財政課 企画係
(ふりがな) つちや まさひこ 担当者氏名 土屋 雅彦	TEL : 0274-59-2111 (内線) 22 FAX : 0274-59-2470
E-mail : tsuchiya-m@vill.ueno.gunma.jp	
URL : http://www.uenomura.ne.jp	
応募宛先 〒370-1614	群馬県多野郡上野村大字川和11番地

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ながおかし
独自－11：新潟県長岡市 (人口：279,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線で1時間30分程度、長岡駅下車、長岡駅から現地までは受入農家により異なります。

(2) 事業実施の目的等

ながおか援農システム「大地まるごと学」は、農業ってどんな感じ?という初心者の方から、将来的には就農したい!という本格的な方のニーズにお答えするため、忙しい農家さんのお手伝いをしながら、体験・学習をしていただくものです。
 そのことにより、農繁期における農家の人手不足解消、農業への理解を深めていただくことで、消費者交流や就農・定住人口の増加を狙います。

(3) 体験の内容

長岡市内の農家において、水稻、野菜などの園芸、畜産、養鯉などの作業のお手伝いをさせていただきます。

(4) 受入主体

長岡市

(5) 受入期間

農家により異なります。
 (詳しくは大地まるごと学HPへ)

(6) 応募上の注意

※費用負担	傷害保険未加入の場合、ボランティア保険代260円が自己負担となります。交通費、宿泊費、飲食代について、全て自己負担です。ただし、長岡駅から各農家までの交通費、昼食等を受入農家のご好意により用意する場合があります。また、受入農家へ宿泊する場合、宿泊費はいただきませんが、その分しっかりとお手伝いをさせていただきます。
①要件	農業に興味をお持ちの方、一生懸命農作業のお手伝いをしてくださる方
②応募締切り	受入農家により異なります。(詳しくは大地まるごと学HPへ)
③宿泊施設	受入農家へ宿泊可能な場合があります。不可の場合はお近くの宿泊施設をご案内します。
④食事形態	受入農家により異なります。(詳しくは大地まるごと学HPへ)
⑤その他	申込みは随時HPから受け付けています。お問合せは電話、FAX、メールで受け付けています。お気軽に御連絡ください。

(7) 地域担当者から一言

長岡市内の農家さんは、水稻を主としてトマト、なす、きゅうりなどの夏野菜、サトイモ、ネギ、大根などの冬野菜、長岡野菜と言われるズイキやおもいのほか(食用菊)、錦鯉、肉用牛などを育てています。
 将来は自家菜園をしたい、農業に関する職に就きたい方などから、その知識を得る場として大変ご好評をいただいています。
 通常、行政が行う農作業体験イベントは参加料が必要ですが、農作業のお手伝いをいただくことが前提のため、参加料が不要だけでなく、場合により謝礼をお支払いすることがあります。
 農業に暇はありませんのでお客様扱いはできませんが、あったかい心で迎えてくれる田舎の農家さんと交流を楽しんでください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 長岡市	担当部署 農林部農政課農村政策係
(ふりがな) 担当氏名 いながわ みさこ 稲川 美沙子	TEL : 0258-39-2223 (直通) FAX : 0258-39-2284
E-mail : nousei@city.nagaoka.lg.jp	
URL : http://www.nagaoka-volaba.jp/	
応募宛先 〒940-8501 (住所不要) 長岡市役所 農政課(大地まるごと学事務局)宛	

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-12 : ^{なんとし}富山県南砺市 (人口: 56, 228人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

平・上平地域: JR 城端(ジョウハナ)線 城端駅下車→加越能バス 城端駅前発-約40分-菅沼着
 利賀(トガ)村地域: JR 越中八尾駅下車→南砺市営バス 八尾駅発-約60分-利賀行政センター着

(2) 事業実施の目的等

中山間地域の農地・景観の保全
 地域の活性化

(3) 体験の内容

- ・五箇山地域(平・上平・利賀村地域)をエリアに農作業
- ・農村伝統文化体験

(4) 受入主体

『みんなで農作業の日』in 五箇山実行委員会

(5) 受入期間

5月下旬～10月上旬のうち2泊3日程度
 (農作業の内容によって受入時期の調整が必要です。)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 公共施設: 1泊2,000～ 民宿: 1泊4,000～ 食事代: 昼食は受入れ先で提供(無料)、夕食、朝食は自己負担
①要件	ボランティアとして、農作業の支援や農地の保全活動ができる人
②応募締切り	随時募集 別添の応募用紙をご記入の上、FAXをお願いします。(郵送、メール可)
③宿泊施設	民宿、公共施設ほか
④食事形態	有料(昼食は提供)、自炊可能の施設もあり。
⑤その他	作業ができる服装をご用意ください。

(7) 地域担当者から一言

南砺市の五箇山地域は、世界遺産の合掌集落を有するほか、「こきりこ」や「むぎや」など特異な文化、美しい農村景観を継承する大変貴重な地域です。でも、「高齢化や耕作条件の悪さ」から、この美しい農村景観が荒廃の危機に直面しています。今、日本の農村は皆さんの若い力を必要としています。皆さんもぜひ、五箇山ならではのコーリヤクを試してみませんか?
 ※コーリヤク: 方言で「手伝う、助ける」の意味

(8) お問い合わせ先

自治体名	南砺市	担当部署	産業経済部 農政課 特産振興係
(ふりがな) 担当者氏名	とみた だいすけ 富田 大輔	TEL: 0763-23-2016 (直通) FAX: 0763-62-2112	
E-mail: tomita.daisuke@city.nanto.lg.jp			
南砺市ホームページ URL: http://www.city.nanto.toyama.jp/webapps/www/index.jsp 『みんなで農作業の日』のブログ: http://gazoo.com/G-Blog/GOKAYAMA_MURA010/Index.aspx			
応募宛先	〒939-1892 富山県南砺市城端1046		

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自-13 : 富山県南砺市 (人口: 56, 228人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR城端線 福野駅下車 徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

- ・地方の人や生活、自然を実感してほしい。
- ・若い人の参加によりイベントを盛り上げ、地方振興につなげたい。

(3) 体験の内容

- ・異文化交流フェスティバル「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」運営スタッフとして参加

(4) 受入主体

南砺市
スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会

(5) 受入期間

8月9日(月) ~ 8月22日(日)
実働10日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	宿泊費、食事代及び交通費は自己負担
① 件	3大都市圏居住の20歳以上の大学生及び大学院生で、田舎が好き、人とのふれあいが好き、異文化に興味関心がある人
②応募締切り	7月10日(土)
③宿泊施設	ホテル、旅館(自費)
④食事形態	自費
⑤その他	作業しやすい服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

地方の賑わい創出に若い力を必要としています。世界の文化を全身で感じてみよう。

(8) お問い合わせ先

自治体名	南砺市	担当部署	教育委員会 福野文化創造センター
(ふりがな) 担当者氏名	たかせ ただお 高瀬 唯雄	TEL : 0763-22-1125 (直通) FAX : 0763-22-1127	
E-mail :	helios@city.nanto.ig.jp		
URL :	http://helios.city.nanto.toyama.jp		
応募宛先	〒939-1576 富山県南砺市やかた100 福野文化創造センター「ヘリオス」		

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-14 : ^{おのし}福井県大野市 (人口 : 37,739 人 (H22.2.1 現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR北陸線 福井駅下車 ⇒ JR越美北線 越前大野駅下車 (60分)

(2) 事業実施の目的等

農村において、地域の家庭(農家)に滞在しながら、従事されているお仕事をお手伝い(ボランティア)していただき、田舎暮らしや様々な職業に興味や理解を深めていただくことを目標の一つとしています。

(3) 体験の内容

『ふるさとワークステイ』
特別な体験内容はありません。普段の農家の生活の中で必要なお手伝いをしていただきます。例えば、農作物の収穫や地域イベントのお手伝い。冬には雪かきのお手伝いもあります。お手伝いの内容は滞在する農家によって異なります。
例) 特産の里芋やネギの植え付け・収穫・出荷のお手伝い、田植え作業の補助、地域のお祭りのお手伝い、環境教育補助、古民家の清掃、作業小屋建築、雪かき

(4) 受入主体

奥越前まんまるサイト
(<http://www.okuetu-manmaru.com/index.htm>)

(5) 受入期間

時期 : 通年
期間 : 2泊以上 (内容によるので要相談)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 参加費 : 5,000円
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい日の2週間前まで
③宿泊施設	農家若しくは研修館
④食事形態	宿泊農家先での食事か、自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

一年を通じて、大野の自然や人の魅力をたっぷり活かした体験メニューを用意しています。受入農家さんと仲良くなって、この事業とは別に、それぞれで交流を進められている参加者もあり、大変好評をいただいています。体験内容や滞在期間は相談に応じます。意欲をもって来られる方であれば、未経験者大歓迎です。ぜひ参加いただき、大野の自然と人情に触れてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	大野市	担当部署	一般財団法人 越前おのの農林楽舎
(ふりがな) 担当者氏名	くぼ やすひろ 久保 康博	TEL : 0779-66-1141 (直通) FAX : 0779-66-1141	
E-mail :	info@ono-gakusya.jp		
URL :	http://www.ono-gakusya.jp/		
応募宛先	〒912-0084 福井県大野市天神町1番1号 大野市役所内		

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自-15 : ^{てんりゅうむら}長野県天龍村 (人口: 1, 775人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR飯田線 平岡駅下車 徒歩10分

(2) 事業実施の目的等

豊かな自然に恵まれているが、県境にあつて高齢化と過疎化が進む村に、都市部で生活する若者に入っただき、本村の特色を生かした様々な活動をして頂く中で、地域住民との係わりを持ち、地域の活性化へ結びつけたい。また、交流を通し住民が普段気づいていない地域の良い面、悪い面について抽出をし、地域が今後どうあるべきかの提言をいただいて、今後のむらづくりの参考としたい。

(3) 体験の内容

- ・農業体験
- ・行政事務体験
- ・各種イベントへの参加と補助
- ・観光施設での補助 など

(4) 受入主体

天龍村山村交流プロジェクト実行委員会
天龍村

(5) 受入期間

8月上旬～ 8月中旬
14 日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費： 無料 食事代： 昼食：自己負担 朝・夕：受け入れ先等で提供（無料） その他： 交流会費用は自己負担
①要件	小規模自治体の未来を一緒に考えて下さる方
②応募締切り	7月16日（金）必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	ホームステイ又は公共施設
④食事形態	朝食・夕食：ホームステイでは宿泊先で提供、公共施設では自炊（材料は提供） 昼食：自己負担
⑤その他	作業ができる服装を用意して下さい。

(7) 地域担当者から一言

南信州の山あいの小さな村「天龍村」での様々な体験と交流を通じて、若い皆さんからの村づくりに対する新鮮な意見や提言を期待しています。

(8) お問合せ先

自治体名	天龍村	担当部署	総務課 むらづくり推進係
(ふりがな) 担当者氏名	ながみね せいいち 永嶺 誠一	TEL : 0260-32-2001 (内線) 136 FAX : 0260-32-2525	
E-mail	suishin@vill-tenryu.jp		
URL	http://www.vill-tenryu.jp		
応募宛先	〒399-1201 長野県下伊那郡天龍村平岡878番地		

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-16 : ^{ひがしいずちょう}静岡県東伊豆町 (人口: 14, 245人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

伊豆急行 伊豆稲取駅 徒歩5分

(2) 事業実施の目的等

- ・都市部に住む若者の意見をまちづくりに反映するため
- ・都市住民と地域住民との交流を図るため

(3) 体験の内容

町の観光振興に関する事業全般

- ① イベント(花火大会・盆踊り大会等)運営補助
- ② 農漁業体験等
- ③ 着地型観光商品のモニター

(4) 受入主体

東伊豆町産業団体連絡会

(5) 受入期間

7月下旬 ~ 8月中旬 14日間で調整

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費と期間中の昼食代は自己負担。宿泊と朝夕食は無料です
① 要件	観光振興(イベント運営等)に興味のある方
② 応募締切り	5月下旬予定
③ 宿泊施設	主にホームステイ
④ 食事形態	ホームステイ先で提供または自炊
⑤ その他	

(7) 地域担当者から一言

東伊豆町は毎年100万人を超える宿泊者が訪れる観光地です。
暖かな伊豆で一生の思い出になる貴重な体験にチャレンジしてみませんか。
若いあなたの行動力に期待しています。
過去2年のインターンの様子をまとめた資料がありますのでお気軽にお問い合わせください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 東伊豆町	担当部署 企画調整課 企画係
(ふりがな) えんどう ひさお 担当者氏名 遠藤 尚男	TEL: 0557-95-6202 (直通) FAX: 0557-95-0122
E-mail: kikaku@town.higashiizu.shizuoka.jp	
URL: http://www.town.higashiizu.shizuoka.jp/	
応募宛先 〒413-0411 静岡県賀茂郡東伊豆町稲取3354	

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-17: ^{かわかみむら}奈良県川上村 (人口: 1, 912人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線 大和上市駅 下車 奈良交通バス30分 川上村役場前 下車

(2) 事業実施の目的等

山村での生活体験のない若者の体験機会を提供し、外部から見た川上村の取組みについて提案・提言をしていただき、「水源地のむらづくり」に活かしていきたい。

(3) 体験の内容

- ・林業体験 (間伐や樽丸作り等、吉野林業の歴史を学ぶ)
- ・地域のイベントへの参加・手伝い (盆踊り等)
- ・森と水の源流館 臨時スタッフ (環境教育について学ぶ)
- ・達っちゃんクラブ 臨時スタッフ (自然体験型イベントの準備・実施)

(4) 受入主体

川上村

(5) 受入期間

8月初旬 ~ 8月中旬
14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費と食費、宿泊代は個人負担です。(ただし、村でのイベント等の仕事をしてもらいますのでそれに対して人夫賃を支給します。)
①要件	水源地のむらづくり交流ネットワークに興味のある方
②応募締切り	7月15日(木)(定員をこえた場合は審査を行いますので、20日(火)を予定に連絡します)
③宿泊施設	水源地の森交流施設 交流滞在の家 (財)グリーンパークかわかみ従業員宿舍・交流滞在の家
④食事形態	基本的には自炊(昼食は弁当を準備します)
⑤その他	詳細は担当者にお問い合わせ下さい。 川上村地域づくりインターンHPもご覧ください。

(7) 地域担当者から一言

川上村は奈良県の南部に位置し、日本三大人工美林の一つ吉野杉で有名な村です。そんな山間のむらではありますが、水源地のむらづくりや林業体験、芸術体験等、都会では体験できない内容を計画しています。私たちと一緒に新しい地域づくりに取り組んでみませんか?

(8) お問い合わせ先

自治体名	川上村	担当部署	企画財政課
(ふりがな) 担当者氏名	すぎた こうへい 杉田 好平	TEL: 0746-52-0111 (内線) 22 FAX: 0746-52-0345	
E-mail	kikaku@vill.nara-kawakami.lg.jp		
URL	http://www.geocities.jp/intern_vill_kawakami_nara/index.html (インターンHP)		
応募宛先	〒639-3594 奈良県吉野郡川上村迫 1335-7		

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-18 : ^{きみのちょう}和歌山県紀美野町 (人口: 11,000人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線海南駅下車 大十バス登山口から紀美野町コミュニティーバス(高野線)に乗換え国吉診療所下車。海南駅から登山口まで約30分、登山口から国吉診療所まで約26分。

(2) 事業実施の目的等

過疎化・高齢化が進む紀美野町が元気になるように
移住・交流施設「セミナーハウス未来塾」が活気付くように
一緒にいい汗をかきながら アイディアを注入してくれる皆さんを募集します。

(3) 体験の内容

①セミナーハウス未来塾の御仕事 ②セミナーハウス未来塾周辺の町有林の保全 ③田舎体験、農村体験の提供 ④レクリエーションプログラムの企画、提供 ⑤野外活動、自然体験などの企画、サービス提供 ⑥農村、里山の情報発信

(4) 受入主体

紀美野町セミナーハウス未来塾

(5) 受入期間

7月16日(金)～ 8月31日(火)
47日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費： 自己負担 宿泊費：無料 食事：食事形態の欄参照
①要件	○仲間と話し合っってアイディアを出し一緒に行動できる人 ○健康で自然が好きの人 ○できれば普通免許を持っている方
②応募締切り	8月15日
③宿泊施設	紀美野町セミナーハウス未来塾
④食事形態	滞在期間中は賄い料理を提供(提供できない場合は当館規定金額を支払います。自炊可)
⑤その他	長期間(10～15日)滞在者を希望

(7) 地域担当者から一言

大自然の山里で心の込めた精一杯の接客経験と、
自らのアイディアで過疎の地域を活性化する経験が得られますよ！

(8) お問い合わせ先

名称	紀美野町セミナーハウス未来塾	担当部署	
(ふりがな)	ひらい つぐじ	TEL :	073-498-0521 (直通)
担当者氏名	平井 二嗣	FAX :	073-498-0531
E-mail :	miraijuku@kimino.jp		
URL :	http://www.kimino.jp/miraijuku/		
応募宛先	〒640-1363		
	和歌山県海草郡紀美野町田25番地		

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-19 : なちかつうらちょう 和歌山県那智勝浦町 (人口: 17, 804人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 紀伊勝浦駅より町営バス (1日3便) で約1時間

(2) 事業実施の目的等

都会の若者と、山里のお年寄り・伝統的な職人等との出会いの機会を設けることで、失われつつある日本古来の暮らしの価値を若者・お年寄り・職人等がそれぞれの立場から認識し、それらの伝統を次世代に受け継いでいく気運が高まり、具体的な活動が始まる契機となることを目指す。

(3) 体験の内容

山里のお年寄りや、伝統的な職人等に対する聞き取り
山里の四季折々の百姓仕事 (農作業、伝統食作り、日用品の手作り・管理ほか)
伝統的な職人の技 (鍛冶屋、桶屋、建具屋等の見学・研修)

(4) 受入主体

百姓養成塾

(5) 受入期間

平成22年4月～平成23年3月
3泊以上、半年～1年の長期滞在も可 (相談に応じます)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担。 宿泊費・食費等: 基本的に自己負担なし。詳細はお問い合わせください。
①要件	山里の文化やお年寄りの知恵、伝統的な職人技など失われつつある日本古来の暮らしに関心があり、人とのコミュニケーション・共同生活・自炊ができる方
②応募締切り	滞在開始希望日の2週間前
③宿泊施設	空き家を利用した共同宿舎
④食事形態	地元食材支給、共同自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

かつて、自然の恵みと人間の力を最大限に活かし循環型社会を実現していた農山村の暮らしが、急速に失われつつあります。農山村を担ってきたお百姓さんや手仕事にこだわりを持つ職人さんも、減少の一途を辿っています。

那智勝浦町色川地域で活動する「百姓養成塾」は、過疎地域と呼ばれるこの地から、自然と人、人と人とのたしかなつながりに根差した農山村復興を目指しています。現代の大量消費社会に疑問をもつ方、日本の原風景に興味をもつ方、ぜひ一度当地においでください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	那智勝浦町	担当部署	産業課 農林係
(ふりがな) 担当者氏名	さかぐち ひでのぶ 坂口 英伸	TEL : 0735-52-0555 (内線) 161 FAX : 0735-52-3011	
E-mail	norin@town.nachikatsuura.lg.jp		
URL	http://www.town.nachikatsuura.wakayama.jp/forms/top/top.aspx		
応募宛先	〒649-5451	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町口色川393-1 百姓養成塾事務局 (春原 (すのはら))	

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-20: ^{ひだかがわちょう}和歌山県日高川町 (人口: 11,069人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR新大阪駅から特急電車でJR御坊駅まで約100分。御坊駅から、路線バスで高津尾バス停まで約40分。
大阪から近畿自動車道や阪和自動車道を経て川辺ICへ。川辺ICから約15分。

(2) 事業実施の目的等

- ・学生に集落自治のままならない地域に入ってもらい、農業支援や地域行事の支援により地域活性化の手助けをしていただきます。
- ・体験型観光事業実施の際のインストラクター補助として活動してもらいます。

(3) 体験の内容

- ・農家民泊をしながら、四季それぞれ、その時々々の農業支援をしていただきます。
- ・一人暮らしの方の庭先や周辺の排水路等の清掃作業等をしていただきます。
- ・子ども農山漁村交流プロジェクト事業、小学校の修学旅行等体験学習開催の際のインストラクター補助をしていただきます。
- ・受入協議会(ゆめ倶楽部21)とヒアリングを目的とした交流会を行います。

(4) 受入主体

日高川町 ゆめ倶楽部21

(5) 受入期間

4月1日～翌年3月31日の期間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、宿泊費は1/2補助。食費は自己負担。
①要件	居住地は問いません。20歳以上の大学生及び大学院生で、田舎が好き、人とのふれあいが好き、研究意欲が旺盛な人を求めます。
②応募締切り	随時受付します。 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	農家民泊(一部費用負担していただきます。1泊3,000円程度)
④食事形態	朝食と昼食及び夕食は農家の方と一緒につくっていただきます。 もしくは、自炊していただいても結構です。
⑤その他	作業ができる服装を用意してください。

(7) 地域担当者から一言

本町は都会からの移住者が多い町です。地元住民と移住者が協働して地域づくりに取り組む「ゆめ倶楽部21」との交流は価値あるものと思います。楽しく交流を深めましょう。また、農家の普段の生活や集落自治がままならない地域をそのまま体験していただき調査研究を深めていただければ良いと思います。

(8) お問い合わせ先

自治体名	日高川町	担当部署	産業振興課(ゆめ倶楽部21事務局)
(ふりがな) 担当者氏名	やました たいぞう 山下 泰三	TEL: 0738-54-0338 (直通)	FAX: 0738-54-0174
E-mail	yumeclub@town.hidakagawa.lg.jp		
URL	http://www.town.hidakagawa.lg.jp/yumeclub		
応募宛先	〒644-1122 和歌山県日高郡日高川町大字高津尾718-3		

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-21: おおなんちょう 島根県邑南町 (人口: 12,309人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

石見交通 矢上駅下車 徒歩10分
広島駅から中国浜田道経由 高速バス瑞穂IC下車 町営バス15分

(2) 事業実施の目的等

2年間都市の学生の受入をする事で地域が元気になった。体験調査員には引き続き地域資源の発掘と施策の提言、または邑南町田舎ツーリズム推進研究会と連携して小学生の受入のインストラクター補助員として活動してもらいたい。また平成22年度から本格的に取り組む大学生のゼミ合宿の誘致においても大学側の窓口としてパイプ役をお願いする。インターン事業の学生が中心になって立ち上げた学生でつくる邑南町活性プロジェクトチームのメンバーとして活躍してほしい。

(3) 体験の内容

小学生のふるさと体験活動(野外活動)の手伝い
田舎ツーリズムツアーの企画、運営補助
農作業体験(稲刈り・産直市出荷の手伝い)
自然公園散策トレッキング
地元最大の夏まつり(やまんばまつり)への参加・手伝い

(4) 受入主体

邑南町

(5) 受入期間

8月9日(月)～ 8月30日(月)
22日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費、食費等は下記に問い合わせください
①要件	グリーン・ツーリズムに興味・関心のある方
②応募締切り	平成22年7月15日
③宿泊施設	農家民泊、農家民宿、久喜林間学舎(廃校利用した宿泊施設)
④食事形態	昼食費はできれば自己負担(状況による)
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

邑南町はどこを切っても本物の田舎です!そしてグリーン・ツーリズムを求めて日本全国各地から大学生が集まる町です。よそから来た方をよそ者扱いにしません。だって邑南町の人はいがいから・・美味しいごはんと新鮮な食材そしてじいちゃんとかあちゃんとの会話。のんびり田舎体験をしたい人、来ちゃんさいや(来てください)!邑南町へ!

(8) お問い合わせ先

自治体名	邑南町	担当部署	定住企画課 商工観光係(グループ)
(ふりがな) 担当者氏名	おおた しんじ 大田 真司	TEL: 0855-95-2565 (直通) FAX: 0855-95-0223	
E-mail	ogasawara-mihoko@town.ohnan.lg.jp		
URL	http://www.town.ohnan.lg.jp		
応募宛先	〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上6000		

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自-22 : 岡山県高梁市 (人口: 35, 131人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR伯備線 備中高梁駅下車 市役所まで徒歩3分

(2) 事業実施の目的等

- ・都市部の若者等との交流を通して地域の人に活力を与えたい。
- ・代々受け継がれてきた農村で生活するための様々な知恵や工夫、元気な高齢者、地域全体で支えあっていく地域福祉システム、受け継がれていく郷土芸能など、日本の原風景を残している地域の中に第三者・若者を受入れて交流・体験することで地域を実感してもらい、土地の課題や可能性を提言してもらいたい。

(3) 体験の内容

- ・農業体験 (トマトの収穫など)
- ・地域イベント (地域盆踊りなど) への参加と協力
- ・地域福祉活動 (障害者、高齢者との交流等) への参加
- ・西山高原ロッジの運営補助

(4) 受入主体

備中地域まちづくり協議会

(5) 受入期間

8月4日(水) ~ 8月20日(金)
18日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担後一部助成 (領収書必要) 宿泊費、食事代の自己負担なし
①要件	20歳以上の大学生及び大学院生で自らの専攻分野を活かしたい思いがあり、田舎が好き、人とのふれあいが好き、そして好奇心旺盛な人
②応募締切り	7月5日(月) 必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記入の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	農家民泊、西山高原施設、旅館等
④食事形態	宿泊先で用意
⑤その他	原則食費の自己負担なし、交通費一部助成あり

(7) 地域担当者から一言

もぎたてのトマト、搾りたての牛乳、きらめく星群、エアコンの要らない夏、そして何よりも温かい人の心・・・備中の夏を体験することでこれまであなたにインプットされていた感覚はすべて更新されるはず。備中インターン第5期生になるかどうかは、あなた次第。

(8) お問合せ先

自治体名 高梁市	担当部署 備中地域局地域振興課まちづくり推進係
(ふりがな) 担当者氏名 おだかみ たかえ 小田上 貴江	TEL : 0866-45-4514(直通) FAX : 0866-45-9912
E-mail : takae_odakami@city.takahashi.okayama.jp	
URL : http://www.city.takahashi.okayama.jp	
応募宛先 〒713-0396 岡山県高梁市備中町布賀29-2	

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自-23 : ^{ながとし}山口県長門市 (人口: 39,989人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 美祢線 長門湯本駅下車 サンデンバス 20分

(2) 事業実施の目的等

都市の若者の受入や交流等を通じて、外部の目での地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

(3) 体験の内容

- ・地域づくりの広報宣伝活動に参加。(フリーペーパー、情報誌、ホームページ等)
- ・農作業体験、集落点検の実施。
- ・温泉、旅館等での接客体験。
- ・公民館活動への参加。(地域住民との交流、スポーツ活動)

(4) 受入主体

NPO 法人 ゆうゆうグリーン俵山

(5) 受入期間

8 月 月上旬 ~ 8 月 下旬
14 日間程度

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 参加費用：3万円(宿泊費・食事代・作業費込み)
①要件	都市と農村の交流(グリーンツーリズム)に興味のある方。
②応募締切り	平成22年7月9日(金) 必着
③宿泊施設	温泉旅館、ホームステイの併用。
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

山口県の軽井沢、夏でも涼しくマイナスイオンたっぷりの農山村で地域づくりに取組んでみませんか?今年新たにNPO法人を発足し、小さな政府目指して活動中です。名湯俵山温泉はもとより、みずぎ、香月、角島など近くには見所たっぷりです。

(8) お問合せ先

自治体名 長門市	担当部署 企画総務部 企画政策課 企画調整係
(ふりがな) よしむら ひろかつ 担当者氏名 吉村 博克	TEL: 0837-23-1116 (直通) FAX: 0837-22-6345
E-mail: chosei@city.nagato.lg.jp	
URL: http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/	
応募宛先 〒759-4192 山口県長門市東深川1339番地2	

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

(受入終了)

独自-24 : 徳島県美波町 (人口: 8, 210人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR牟岐線 日和佐駅下車 徒歩15分

(2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

(3) 体験の内容

- ・地域主導の都市・地域間の交流事業への参加
- ・地域の漁業、農業体験
- ・うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い

(4) 受入主体

美波町

(5) 受入期間

7月下旬 ~ 8月下旬 の14日間
※学生の方と相談し日程を決定

(6) 応募上の注意

※費用負担	・現地までの交通費：美波町負担（一部各自負担予定） ・食事代：「④食事形態」のとおり ・宿泊代：原則美波町負担（各自で負担していただくこともあります）
①要件	・地域づくり、観光振興に興味のある方 ・体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出（広報誌に掲載予定）
②応募締切り	平成22年6月30日（必着） ※別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
③宿泊施設	ホームステイ、宿泊施設（国民の宿）、美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
④食事形態	原則：朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ※ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定。
⑤その他	・申込前に、担当までご連絡ください。 ・動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

(7) 地域担当者から一言

昨年9月から放映されたNHK朝の連続テレビ小説『ウェルかめ』の舞台地で、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。
不明な点等があれば事前にご連絡をください。

(8) お問合せ先

自治体名 美波町	担当部署 総務企画課
(ふりがな) ながもと よしひこ 担当者氏名 永本 嘉彦	TEL : 0884-77-3611 (直通) FAX : 0884-77-1666
E-mail : somu@town.minami.lg.jp	
URL : http://www.town.minami.tokushima.jp/	
応募宛先 〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1	

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-25 : ^{おぢかちょう}長崎県小値賀町 (人口: 3, 009人)

(1) 最寄りの交通期間と所要時間

【福岡県博多港から】	野母商船フェリー太古にて約5時間 (夜 11:30 発 朝 5:00 着)
【長崎県佐世保市から】	九州商船フェリーなるしおにて約3時間 (1日2便)
	九州商船高速船シークイーンにて約2時間 (1日2便)

(2) 事業実施の目的等

- ・ アイランドツーリズム事業への参加による、観光客のニーズの調査及び対策
- ・ 地域活性化に関する若者の積極的な意見の交換及び交流
- ・ 中期的な滞在により島民との絆を深め、フォローアップしてもらう

(3) 体験の内容

- ・ アイランドツーリズム協会の職場体験 (キャンプリーダーや自然体験活動等の経験等)
- ・ (株)小値賀観光まちづくり公社の職場体験 (古民家事業準備、観光対応等)
- ・ 基幹産業体験 (農業、漁業等)
- ・ 島の若者との意見交換、スポーツ交流等

(4) 受入主体

小値賀町

(5) 受入期間

8月4日(水) ~ 8月24日(火)
3週間

(6) 応募上の注意

※費用負担	当町への往復に係る費用は個人負担。
①要件	島暮らしに興味がある人。第一次産業と観光の連携に興味のある方で、何事にも積極的に参加し、持論を人前で発表することができる大学生。
②応募締切り	6月25日(金) 必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載のうえ、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	旅館民宿・民泊・セミナーハウス・野崎島自然学塾村
④食事形態	<input type="checkbox"/> 民泊では朝・夕を一緒に料理 (昼食は各自) <input type="checkbox"/> 旅館民宿では朝夕を提供 (昼食は各自) <input type="checkbox"/> セミナーハウス・自然学塾村では自炊 (食材提供は可能)
⑤その他	<input type="checkbox"/> 食費等原則自己負担無し、交流会経費については一部負担有り <input type="checkbox"/> 作業が出来る衣類等を準備して下さい。

(7) 地域担当者から一言

「小値賀中毒症」という言葉があるほど、当町には一度来ると病み付きになる大自然と、美味しい魚や野菜、そして何より素敵な島民が沢山います。また人口が少ないことにより、様々な意見がすぐに実行できる町でもあります。あなたのセンスを町づくりに活かしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	小値賀町	担当部署	総務課 自立推進班
(ふりがな) 担当者氏名	かんざき けんじ 神崎 健司	TEL:0959-56-3111 (代表) FAX:0959-56-4185	
E-MAIL	kanzaki-kenji@ojika.net		
URL	http://www.ojika.net		
応募宛先	〒857-4701 長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷 2376 番地 1		

若者の地方体験交流 募集要項
 (料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-26 : ^{おぐにまち} 熊本県小国町 (人口: 8, 413人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR豊肥本線阿蘇駅 ~ バス(約60分) ~ ゆうステーションバス停 ~ バス(約15分)
 ~ 木魂館バス停

(2) 事業実施の目的等

- ・地域づくりの中で都市部の学生の持つ意見を聞き、今後のアイデアにつなげる。
- ・都市と農村をつなぐためのヒントを見つけ出し、地域産物を使いながら食卓へ小国らしさを提供できる何かをつくりだす。

(3) 体験の内容

- ・地域づくり活動にかかる調査補助
- ・地域イベント(祭りなど)の参加
- ・おぐに自然学校スタッフ補助
- ・九州ツーリズム大学補助スタッフ など

(4) 受入主体

財団法人 学びやの里

(5) 受入期間

8月 中旬 ~ 9月 上旬
 約 16日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	交通費: 自己負担 食事代: 自己負担 (全日程で一万円ほど、基本的に自炊)
①要件	農山村の地域づくり活動に興味がある方 (大学生または大学院生に限る)
②応募締切り	7月12日(月) 必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	(財) 学びやの里 木魂館 (研修宿泊施設)
④食事形態	一部自己負担 (全日程で一万円ほど、基本的に自炊)
⑤その他	朝夕は結構涼しいので衣類は一枚多めに。屋外作業のできる服装。

(7) 地域担当者から一言

義理人情に厚く、熱心な心を持った学生。2週間以上の期間を心身ともに元気に過ごせる体力のある方。今まで小国に来たインターン先輩と一味違う活躍をしませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名	小国町	担当部署	商工企業促進課 商工観光係
(ふりがな) 担当者氏名	ささはら しょうた 笹原 正大	TEL: 0967-46-2113 (直通) FAX: 0967-46-4980	
E-mail	s_sasahara@town.oguni.kumamoto.jp		
URL	http://www.town.oguni.kumamoto.jp		
応募宛先	〒869-2592 熊本県阿蘇郡小国町大字宮原1567-1		

若者の地方体験交流 募集要項

(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-27: ^{ひたし}大分県日田市 (人口: 72,678 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

<ul style="list-style-type: none"> ・ JR久大本線日田駅下車 (大分駅より1時間40分、博多駅より1時間10分) ・ 高速バス日田バスセンター下車 (福岡空港より1時間15分) ・ 日田駅・日田BCから受入農家までは、車で約15~50分程度

(2) 事業実施の目的等

<p>都市部の方に、農山村の仕事や生活を一定期間体験してもらい、その良さを実感してもらおうとともに、住民との交流を深めて頂きます。具体的には、参加者は繁忙期の農作業等を有償で手伝うことによって報酬を得、それを滞在期間中の宿泊・食費に充てるしくみ。参加者は大きな経費負担なく、3~7日程度の本格的な田舎生活・農作業が体験できます。</p>
--

(3) 体験の内容

<p>その時期、市内の受入農家が手伝いを必要とする農作業等のお手伝い。原則として単純・軽作業。 (例) 梅ちぎり・天日干し・剪定、シソ摘み、ワサビ収穫、ブドウ摘粒・収穫、菌床しいたけ栽培、梨摘果・収穫、飼料用稲ワラ収穫、等</p>

(4) 受入主体

市内農家等

(5) 受入期間

<p>随時3~7日程度(農作業のない時期は募集がない場合もあります)</p>
--

(6) 応募上の注意

※費用負担	<p>宿泊・食費: 農作業等に対する報酬とほぼ同程度なので、滞在費に充てられます。詳しくは、日田市ホームページをご覧ください。 現地までの交通費: 自己負担</p>
①要件	<p>日田市外に在住する18歳以上の健康な方。農業・田舎暮らし・日田市に興味のある方。農家と直接雇用契約をしていただきます。</p>
②応募締切り	<p>随時、先着順。(農作業により受入時期が異なるため、直接受入農家に問い合わせてください。連絡先は市HP又は募集リーフレット掲載)</p>
③宿泊施設	<p>受入農家、又は近隣の民泊農家・民宿等</p>
④食事形態	<p>受入農家では朝・夕を提供。食事内容は家族と同じで、民泊農家・民宿もこれに順じます。自炊の場合もあり。個々の農家に申し込み時に確認してください。</p>
⑤その他	<p>募集開始は22年5月からの予定。詳細は、市ホームページをご覧ください。募集用リーフレット、及び参加申込書はダウンロードできます。ご覧頂けない方はお送りしますので、4月末以降にお電話ください。</p>

(7) 地域担当者から一言

<p>日田は、盆地から山間部まで変化に富み、様々な顔を持つ市です。地域によって様々な農産物づくりを行っていますので、興味を持たれた方は、ぜひ申し込んでみてください。通常の体力とやる気があれば、どなたでもお申し込いただけます。</p>
--

(8) お問い合わせ先

自治体名	日田市	担当部署	地域振興部 地域振興課 地域振興係
(ふりがな) 担当者氏名	まつき ひろかず ふくま じゅんこ 松木 弘和・福間 淳子	TEL: 0973-22-8356 (直通)	FAX: 0973-22-8304
E-mail: tiikisinkou@city.hita.oita.jp			
URL: http://www.city.hita.oita.jp/uiturn.html			
応募宛先	〒877-8601 大分県日田市田島2丁目6-1		

若者の地方体験交流 募集要項
(料金等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

独自-28 : ^{にしめらそん}宮崎県西米良村 (人口: 1, 288人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR日豊本線 宮崎駅下車 宮崎交通バス 約150分 村所駅バス停下車

(2) 事業実施の目的等

都市部の方に、村の仕事やイベント等、様々な活動を通して村民と交流を持っていただくことで、地域の活性化を図りたい。 体験者の方には、村の生活・習慣・イベント等について、外からの目線を活かし、率直な感想を聞かせてほしい。

(3) 体験の内容

ワーキングホリデー制度体験 (ほおずき・ピーマン収穫、ゆず加工品づくり) 村内開催の各種イベント・行事参加 (運営協力・スタッフの場合もあり) 温泉ボランティア (朝風呂会)

(4) 受入主体

農家、(株)米良の庄、集落、村

(5) 受入期間

7月下旬～9月下旬 14日間

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費、食費 (原則自炊)、宿泊費は自己負担 宿泊費は下記に問い合わせください。
①要件	田舎や農作業に興味のある方 (作業用の服装要準備)
②応募締切り	7月上旬 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	「双子キャンプ村コテージ」もしくは「小川民話の宿コテージ」
④食事形態	基本的に自炊 (隣接の温泉施設等で食事可能)
⑤その他	ワーキングホリデー制度体験では報酬を支給

(7) 地域担当者から一言

豊かな自然とあふれる人情が自慢の村です。忘れられない14日間になることをお約束します。 あなたのフレッシュなご意見をお聞かせください。
--

(8) お問い合わせ先

自治体名 西米良村	担当部署 総務企画課 企画交流グループ
(ふりがな) きくかわ あきこ 担当者氏名 菊川 明子	TEL : (0983) 36-1111 (内線) 25 FAX : (0983) 36-1207
E-mail : a-kikukawa@vill.nishimera.lg.jp	
URL : http://www.nishimera.jp/	
応募宛先 〒881-1411 宮崎県児湯郡西米良村大字村所15番地	

募集地域参加申込書

- ふりがな
1. お名前： (男・女)
2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地：)
* 都道府県で記入

写真
無帽・上半身のもの
(写真の裏に氏名を明記)

3. 最終学歴： _____ 在学中 () 年
卒業・修了 _____

研究テーマ等： _____

* 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も明記してください)。
* 卒論または現在研究中のテーマを記入してください。

4. 資格・特技・趣味など (選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

5. 自己PR

6. 住 所

〒 _____

連絡先：選考などに関し募集地域などから連絡を行う場合があります。
(『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望する独自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

電話(自宅)： _____ Eメール(PC)： _____

電話(携帯)： _____ Eメール(携帯)： _____

◆小論文記入用紙◆

テーマ：①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： _____

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

指導教員等推薦の署名・捺印（大学生・大学院生のみ）

指導教員 _____ 大学 _____ 学部 役職 _____ 氏名 _____ 捺

*各テーマ400字程度でまとめてください。

*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）

*なお、別紙を使用される場合、別紙にも指導教員等推薦の署名・捺印をお願い致します。

連絡先

国土交通省 都市・地域整備局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞ヶ関2-1-3

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：http://www.mlit.go.jp/crd/crd_chisei_tk_000007.html

